

発達支援トモノエ矢口渡教室では、サービスの質について、アンケートを実施、結果を集計しています。その内容をもとにスタッフ自ら評価を行い、今後の改善プランを策定し実施して参ります。

下記に各項目ごとの評価状況や今後の改善内容を公表致します。

自己評価結果や今後の改善内容を公表することで、みなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとにした内容となっております。

		チェック項目	工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	利用人数に対して適切な活動空間を提供できるよう配置しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置基準は満たしていますが、より充実した職員配置ができるように取り組んでいます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	室内の段差解消、引き戸採用等、よりご利用者様が安心・安全にご利用できるように配置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	ご利用者様の活動プログラムへの参加の促進や運営・環境面の小改善を目的とし、職員間で情報の共有と解決策の立案を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	年に1回アンケートを実施し、ご意見を伺いながら改善に取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	弊社のホームページ又はHUGシステムで公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後実施を検討しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	スキルアップの為、外部研修への積極的な参加と内部研修を定期的に行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	定期的なアセスメントと、職員間で随時カンファレンスを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントシートを活用し、随時改定・更新をしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	障がい特性や難易度等に配慮し、職員間で意見交換をしながら活動プログラムの立案を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	季節感を味わえるようなプログラムを時期に応じて取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	休日や長期休暇には、外出活動等を企画し取り入れています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	利用者様や保護者様のニーズに合わせ、個別活動や社会生活に向けての活動を取り入れ、放課後等デイサービス計画の作成をしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	全職員で毎日支援開始前にご利用者様の当日の様子や活動の内容等を確認・共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に当日の出勤者で当日の振り返りを行い、気づき等を共有し、翌日も共有することで全員で理解を深め、支援に繋げられるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	HUGを活用して保護者様に当日の様子が適切に伝わるように、文と写真を用いて記録しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	計画相談等関係機関と情報共有を行いながら、定期的なモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	ガイドラインと日々の支援の整合性を取りながら支援をしています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	担当職員と児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	ご家庭から学校のご様子を伺ったり、学校へのお迎えの際に学校と情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	ご利用契約書にて主治医や連絡先などを保護者様に記入いただいています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	今後必要に応じて各関係機関との連携を取りながら、日々の支援を行っていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報共有の依頼があった場合等に速やかに対応し、必要に応じて各関係機関と連携をとっていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	区が運営する発達支援センターとの連携を整え、研修にも積極的に参加していきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	直接的な交流はありませんが、近所の公園や河川敷等への散歩に行く機会を設けています。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	自立支援協議会のネットワーク会議に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	日頃から活動の様子をお伝えし、HUGや電話にて情報共有を行い、方向性の確認をしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	お困りごとなどがあれば、その都度ご相談いただいています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時にご説明し、不明点をご質問のあった際に丁寧に説明することを心掛けています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日々の電話等でのやり取りや送迎時など、保護者様からのご相談に可能な限り迅速にご対応できるように努めています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者様のご意見を頂戴しながら、今後必要に応じて企画、開催を検討して参ります。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった際には、内容の記録と原因や対策を検討し、迅速に保護者様への回答を行い、状況によっては行政機関への報告も行います。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	HUGにて文書や写真を用いて公開しております。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	個人情報に関わるものの取り扱いには細心の注意を払って管理しています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	絵カードの活用やジェスチャーを交えたやり取り等日常的に配慮しています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	地域のお店を活動に利用することで、事業所について知っていただいている状況です。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルの策定、委員会の配置、職員への周知を行っています。今後は保護者様へも発信してまいります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年に2回の防災訓練を実施しています。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会を設置し、研修やアンケート等で定期的なチェックを行っています。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束を行う場合の定義を決め、保護者様からの同意書をいただいています。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時にフェイスシート等のご記入をいただき、アレルギーや医療指示のある場合は、丁寧に聞き取りし、対応しています。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事案が発生した際は、すぐに事業所内で情報共有し、ヒヤリハットの作成をしています。